

## 教育活動その他の学校運営の状況に関する情報

### 大原簿記情報医療専門学校静岡校

#### 1. 学校の概要、教育目標

教育目標	早期大人化教育、学科の専門教育 社会人として通用する専門能力と常識を身に付け、自分の力で切り開いていくことができる人間として成長するとともに、社会人としての自覚や精神的な自立、資格試験や公務員試験の合格に必要な実務能力を備えることを目標とします。
特色等	トライアングル教育 ・トライアングル教育とは、①学生個人の力、②クラス力、③教師力の三者のパワーを相互連携する教育システムであり、このトライアングルパワーを最大限に引き出すことで、希望の資格試験や公務員試験、就職内定の合格実現性を高めていきます。 ・独自の学生手帳（トライアングル手帳）を活用する等、学生生活を通して学生自身により自己管理能力、自己継続力が養われる教育を実践します。
校長名	富 樫 幸 信
所在地	静岡県静岡市葵区柚木103-1
連絡先	TEL 054-264-6060 FAX 054-264-3740
学校の沿革	昭和59年 静岡大原簿記専門学校開校
	平成8年 大原簿記専門学校静岡校に校名変更
	平成21年 大原簿記情報医療専門学校静岡校に校名変更
在籍学生数	125名（男子54名、女子71名）
教員数	20名（常勤18名、非常勤2名）

## 2. 各学科の教育（1）

商業実務専門課程 公認会計士税理士科（2年）	
教育目標	企業会計・会計監査・税務申告に関するプロフェッショナルの養成を目的とした専門教育を実践している。高度資格教育とともに充実したPC教育・実務教育を通して、財務・経理部門で即戦力となる人材を育成します。
募集定員	40名（平成30年度入学者7名）
進級の要件	3基準（出欠席、資格、履修科目の成績）を総合的に判断して進級審査会において決定します。
卒業の要件	3基準（出欠席、資格、履修科目の成績）を総合的に判断して卒業審査会において決定します。

商業実務専門課程 総合ビジネス科（2年）	
教育目標	<p>（情報ビジネスコース）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>社内ネットワーク、セキュリティ対策（ハッキング・個人情報保護）、トラブルシューティング、システム開発など、広範囲にわたるIT活用能力を持った人材を育成します。</li> </ul> <p>（経営ビジネスコース）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>営業・販売・接客に関するスペシャリストの養成を目的とした専門教育を実施します。企業会計に関する教育やプレゼンテーション指導を充実しているため、幅広い業界で活躍できる人材を育成します。</li> </ul> <p>（オフィスビジネスコース）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>秘書技能検定準1級をはじめ、専用のマナー実習室でのビジネスマナーの習得、Word・Excel操作技能の習得など、一般事務職・受付・秘書業務で必須とされる資格・技能を身に付けた人材を育成します。</li> </ul>
募集定員	80名（平成30年度入学者28名）
進級の要件	3基準（出欠席、資格、履修科目の成績）を総合的に判断して進級審査会において決定します。
卒業の要件	3基準（出欠席、資格、履修科目の成績）を総合的に判断して卒業審査会において決定します。

商業実務専門課程 医療事務科（2年・1年）	
教育目標	医療機関における受付対応、保険請求事務、秘書業務等に関するスペシャリストの養成を目的とした専門教育を実践している。カリキュラムにインターンシップを取り入れ実務に強く即戦力となる人材を育成します。
募集定員	2学科合わせて100名（平成30年度入学者28名）
進級の要件	3基準（出欠席、資格、履修科目の成績）を総合的に判断して進級審査会において決定します。
卒業の要件	3基準（出欠席、資格、履修科目の成績）を総合的に判断して卒業審査会において決定します。

・商業実務専門課程 キャリアアップ本科（1年）	
教育目標	社会保険、経営企画、法律、不動産、情報会計のスペシャリストを目指し、専門的な知識の修得とビジネスマナースキルやコンピュータ等の実習をとおして即戦力となる人材を育成する。
募集定員	40名（平成29年度入学者5名）
卒業の要件	3基準（出欠席、資格、履修科目の成績）を総合的に判断して卒業審査会において決定します。

## 2. 各学科の教育（2）

商業実務専門課程 会計士税理士専攻科（1.5年）	
教育目標	目標試験を公認会計士試験と税理士試験の2つに限定したカリキュラムにより、高度な資格を取得したハイレベルな会計プロフェッショナルとして活躍できる人材を育成する。
募集定員	40名（平成30年度入学者0名）
進級の要件	3基準（出欠席、資格、履修科目の成績）を総合的に判断して進級審査会において決定します。
卒業の要件	3基準（出欠席、資格、履修科目の成績）を総合的に判断して卒業審査会において決定します。

取得目標資格	公認会計士、税理士、日商簿記、全経簿記、基本情報技術者、秘書技能検定、診療報酬請求事務能力認定（医科）、医療請求事務、Excel表計算処理技能認定、Accessデータベース技能認定 など
合格者実績	税理士科目（簿記論1名、財務諸表論2名）、日商簿記検定2級23名、秘書技能検定準1級9名、診療報酬請求事務能力認定（医科）8名、医療請求事務2級20名、同1級19名、Excel表計算処理技能認定3級11名、同2級21名、Accessデータベース技能認定3級26名 など
就職状況	卒業者数70名：就職者数60名（関連分野54名、関連外分野6名）、自営その他10名
卒業後の進路	あおい税理士法人、新日本有限責任監査法人、税理士法人山田&パートナーズ、東洋製罐（株）、ヒダ（株）、関東日本フード（株）、東海精機（株）、大宮製紙（株）、SSBソリューション（株）、（株）電翔、聖隷健康サポートセンターShizuoka、島田耳鼻咽喉科、杉田整形外科、岡本石井病院、藤枝平成記念病院、大石耳鼻のどアレルギー科クリニック、Dr.Saiデンタルクリニック など

### 3. キャリア教育・実践的職業教育

キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"><li>・2年次2学期以降、入社前就職教育システムにより入社後を想定した実践形式の学習を実施します。</li><li>・医療事務科（2年）では、2年次においてインターン実習を実施し、内定者については病院実習も実施します（病院実務実習の授業として480時間を履修します）。</li></ul>
就職支援等	<ul style="list-style-type: none"><li>・就職活動全般を基礎（企業研究、一般教養科目、履歴書作成等）から応用（面接対策、企業ガイダンス参加準備等）まで実施します。</li><li>・担任と就職専任職員との連携による、学生の希望と個性を重視したカウンセリングを実施します。</li><li>・就職専任職員による就職活動相談は随時受付が可能です。</li><li>・求人情報等の自由閲覧が可能です。</li><li>・最新の求人情報や説明会情報などは担任を通じて学生に連絡いたします。</li></ul>

### 4. 様々な教育活動・教育環境

学校行事	<ul style="list-style-type: none"><li>・国内研修（菅平研修所・富士宮研修所）、バス研修旅行などの研修</li><li>・スポーツフェスティバル（学園全体での運動会）、合格祝賀パーティ、新入生歓迎会 など</li></ul>
課外活動	<ul style="list-style-type: none"><li>・野球部、サッカー部、バスケットボール部などのクラブ活動</li></ul>

### 5. 学生の生活支援

生活支援	<ul style="list-style-type: none"><li>・欠席換算日数に応じて、担任・教務責任者・校長による面談（必要に応じて保護者を含む）を実施します。</li><li>・学生と担任との面談は随時実施します。</li></ul>
資格取得	<ul style="list-style-type: none"><li>・専攻する学科の資格試験以外の他資格へ挑戦する学生に対し、附帯教育の無料聴講制度や割引受講制度を準備しています。</li><li>・自動車運転免許の取得支援（安価でカリキュラムに支障のない免許合宿の斡旋）を行っています。</li></ul>

## 6. 学生納付金・就学支援

学生納付金	入 学 金	200,000 円	入学手続き時に納入していただきます。
	授 業 料 ( 年 間 )	720,000 円	6 種類の納入パターンから自由選択していただきます。
	維 持 費 ( 年 間 )	180,000 円	
	研修・教材費(年間)	60,000 円	
<p>※6 種類の納入パターンは次のとおりです。</p> <p>①年間一括 (3 月納入)、②半期一括 (3 月、7 月納入)</p> <p>③毎月均等額納入 (毎月 15 日引落)、④奨学金利用納入 (毎月 15 日引落)</p> <p>⑤毎月均等額納入 A・C (毎月 15 日引落)、⑥毎月均等額納入 B・D (毎月 15 日引落)</p>			
就 学 支 援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本学生支援機構の奨学金制度が利用できます。</li> <li>・特別奨学生制度 (資格経歴認定特別奨学生、兄弟姉妹等特別奨学生) により学費の一部が免除されます。</li> <li>・学園提携ローンをご紹介します。</li> </ul>		